

畜産ネットワーク ちば

2020年5月15日
第48号

発行所 公益社団法人千葉県畜産協会
〒260-0021
千葉市中央区新宿1-2-3
K&T千葉ビル3階
発行人 森 英介

《就任にあたってのあいさつ》



千葉県農林水産部長
穴澤 幸男

畜産協会の会員及び畜産関係の皆様には、日頃から本県畜産の振興に御理解・御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本県の畜産産出額は平成30年に1,287億円と、全国第5位に位置し、農業産出額の約3割を占める重要な部門となっております。

しかしながら、畜産を取り巻く情勢は、台風や大雨などの相次ぐ自然災害、経営戸数・飼養頭数の減少、TPP11や日欧EPA、日米貿易協定など国際化の急速な進展による影響等が懸念されるなど、生産基盤の強化が課題となっております。

また、26年ぶりに国内で発生したCSFは関東地域にまで感染が拡大し、国は感染拡大の恐れがある地域に限って予防的ワクチンの接種に踏み切ったほか、ASFが依然として近隣諸国で続発するなど、家畜伝染病への対策も一層重要視されているところです。

このような中、県では、千葉県農林水産業振興計画（計画年度：平成30～令和3年度）に基づき畜産振興に取り組むこととしており、令和2年度は主に次の施策を推進してまいります。

1 家畜の生産性向上と働き方改革の推進

今年度から、夏季における暑熱対策技術の普及を図るとともに、優良な家畜の確保・育成により家畜の生産性向上を図ります。また、ICTの活用や飼料生産コントラクターの育成等による作業の省力化や外部化を図ることにより、意欲を持って働ける魅力ある畜産経営の実現を目指します。

2 自給飼料等の生産・利用拡大

輸入飼料価格に左右されない安定した経営のために、畜産農家と耕種農家の連携強化による飼料用米や稲ホールクロップサイレージなどの活用、二期作・二毛作の推進により自給飼料の生産・利用拡大を推進します。

3 畜産クラスターを活用した高収益型畜産経営の確立

収益性の向上を図るため、畜産農家をはじめ、地域の関係業者が連携・結集した畜産クラスターの更なる構築と取組を強化します。

4 家畜伝染病に対する防疫体制の強化

CSF予防的ワクチン接種や野生動物侵入防護柵整備事業等を実施するとともに、家畜伝染病の発生予防及びまん延防止のための防疫体制強化に取り組めます。

これらの県施策の推進につきまして、今後とも御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

最後になりますが、会員及び関係者の皆様並びに本県畜産の益々の御発展を祈念申し上げまして、就任の挨拶とさせていただきます。

目次

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| 【1】 就任にあたってのあいさつ | 【6】 令和2年度 千葉県畜産関係機関一覧表 |
| 【2】 令和元年度第2回通常理事会開催 | 【9】 NPC通信 |
| 【3】 令和2年度畜産協会事業推進体制 | 【12】 NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信 |
| 【4】 肉用子牛生産者補給金制度（第7業務対象年間） | 【14】 チバザビーフ協議会報 |
| 【5】 肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン） | 【16】 チバザポーク便り |

令和元年度第2回通常理事会開催

令和2年3月9日、プラザ菜の花において、森会長出席のもと令和元年度第2回通常理事会が開催され、令和2年度事業計画案及び収支予算案をはじめ全6議案が原案どおり承認されました。（総務・企画部 武田）

昨年秋の台風及び大雨による農業畜産への影響は甚大で、畜舎等関連施設の損壊に加え、長期にわたる停電により、生乳生産や家畜の飼養に大きな被害があったところです。

また、一昨年に岐阜県で発生した豚熱については、野生イノシシの感染拡大と合わせるように関東地域内の養豚場でも昨年に発生があり、本県では2月17日から県による予防的ワクチンが開始されました。

このような中、当協会としては、酪農における生産性向上のため、EBL（牛白血病）やBVD—MD（牛ウイルス性下痢・粘膜病）の清浄化対策及び経営や生産技術の指導のためのコンサルタントの派遣事業等を引き続き実施してまいります。

肉牛生産に関しては、肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）や4月から第7業務対象年間に移行する「肉用子牛生産者補給金制度」の的確な運営に努めるとともに、事務局を受け持つチバザビーフ協議会として、再度の協賛県となった「東京食肉市場まつり（10月24日、25日開催）」を中心に、千葉県産牛肉のアピールに努めてまいります。

養豚においても、事務局を持つチバザポークやナイスポークチバの活動を通じて、千葉県産豚肉のアピール

現在、新型コロナウイルス感染症が大きな社会問題となっており、併せて暖冬の影響もあって、食肉の消費が落ち込み、相場は大きく低迷しております。

特に豚肉においては輸入冷凍品を中心とした在庫の潤沢さにより、近年にない低迷が見られています。

さらには、TPP11及び日EU・EPAに加え、本年1月に発効した日米貿易協定の影響も懸念されているところです。

ルや消費拡大運動を継続してまいります。

また、令和元年度から緊急的に実施している「ASF侵入防止緊急支援事業」については、養豚場周囲の野生動物侵入防止用の柵の設置を推進し、国が進める飼養衛生管理基準に基づく衛生対策の充実を図ってまいります。

さらに、農場における衛生対策の向上のため、外国人技能実習生に向けた家畜衛生に係る講習会を新たに実施してまいります。

畜種全般においては、引き続き農場HACCPや畜産GAPの普及促進を図るとともに、昨年は台風の影響で中止した「千葉県畜産フェア」についても例年どおりの開催を目指してまいります。

（公社）中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

がんばる!畜産!3

畜産現場の“今”を30分の番組にしました!
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください!
配信中の内容: IoT技術の活用/農場HACCP/搾乳ロボット/他



◀スマートフォンからはこちら
▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産



（公社）中央畜産会 経営支援部（情報） TEL03-6206-0846

瞳は未来を見つめてる。

動物 未来 みつめる ひろがる



動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

令和2年度畜産協会事業推進体制

以下の体制で事業推進を図ります。よろしくお願いいたします。（総務・企画部 武田）

◎ 理事会

◆会長理事（非常勤）	森 英介	◆専務理事（常勤）	松木 英明
◆副会長理事（非常勤）	5名	◆常務理事（常勤）	岡田 望
◆理事（非常勤）	10名		

◎ 委員会

- ◆家畜衛生評議委員会
- ◆養豚振興委員会

◎ 事務局

部署・職名等		氏名	主な業務の内容
専務理事		松木 英明	・家畜生産農場衛生対策事業（BVD-MD 対策）、その他衛生、畜産関係団体との連携に関する事
常務理事		岡田 望	・畜産特別資金推進指導事業、家畜生産農場衛生対策事業、生産農場衛生対策等教育事業、養鶏研修会の開催、NPO 法人に関する事
【総務・企画部】			
次長（総務課長兼務）		武田 善秀	・協会の総務、地域自衛防疫推進事業、肉用子牛生産者補給金制度、養豚経営安定対策事業及び肉豚生産安定対策事業、畜産フェア、地域畜産支援指導等体制強化事業、千葉県畜産物消費拡大推進協議会及び消費拡大関係事業、エコフィード・TMR 関係事業に関する事
総務課	調査役	槌屋 健太郎	・総務関係資料の作成及び経理処理、畜産関係団体調整機能強化事業、養蜂振興事業（養蜂協会）、貸付事業（近代化リース）の指導等に関する事
	臨時職員	藤代 直子	・総務課等、肉用牛損害賠償に関する事
	臨時職員	山中 美穂	・総務課等、肉用牛損害賠償、チバザビーフ協議会に関する事
企画課	主査	小倉 崇司	・肉用牛肥育経営安定交付金制度、肉用牛経営安定対策補完事業、チバザビーフ協議会、広報（ホームページ、広報誌等）に関する事
	臨時職員	瀧口 麻美	・肉用牛肥育経営安定交付金制度、企画課に関する事
	臨時職員	胡口 常代	・肉用牛肥育経営安定交付金制度、肉用子牛生産者補給金制度、養蜂振興事業（養蜂協会）に関する事
【事業部】			
経営・環境課	主任技師	飯沼 大輝	・地域畜産総合支援体制整備事業、畜産コンサルタント等設置事業、家畜防疫互助基金造成等支援事業、馬関連補助事業、千葉県肉用牛損害賠償請求生産者会、家畜生産農場衛生対策事業（BVD-MD 対策）、パソコン及びネットワークシステム構築に関する事
衛生指導課	臨時職員	高橋 早苗	・衛生指導課に関する事
生産課	課長	金杉 文一	・千葉県産オリジナル豚肉生産体制強化事業、豚共進会等事業、養豚関係団体との調整、チバザポーク販売推進協議会、養豚改良対策事業、ASF 侵入防止緊急支援事業、養豚経営災害緊急支援対策事業に関する事
	臨時職員	高橋 真理	・肉用子牛生産者補給金制度、生産課、NPO 法人に関する事
【ナイスポーク】	嘱託職員	薫田 耕平	・NPO 法人いきいき畜産ちばサポートセンター、農場 HACCP（家畜防疫・衛生指導対策事業）及び日本版畜産 GAP 指導推進支援事業、生産農場衛生対策等教育事業に関する事
	嘱託職員	加藤 脩三	・ナイスポークチバ推進協議会、養豚大会に関する事
	嘱託職員	福島 達哉	・畜産・酪農収益力強化総合対策基金事業（畜産クラスター）、酪農事業及び酪農 GO 事業、死亡牛緊急円滑化事業に関する事
【ナイスポーク】	臨時職員	原澤 文恵	・ナイスポークチバ推進協議会に関する事

◎ 畜産団体事務局及び担当者

★千葉県畜産物消費拡大推進協議会（総務・企画部 武田）	★ちば畜産レディースネットワーク（総務課 槌屋）
★千葉県養蜂協会（総務課 槌屋）	★チバザビーフ協議会（企画課 小倉）
★千葉県馬事畜産振興協議会（経営・環境課 飯沼）	★千葉県肉用牛損害賠償請求生産者会（経営・環境課 飯沼）
★チバザポーク販売推進協議会（生産課 金杉）	★千葉県自家検定推進協議会（生産課 金杉）
★NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター（経営・環境課 薫田）	
★ナイスポークチバ推進協議会（生産課 加藤）	

肉用子牛生産者補給金制度（第7業務対象年間）

令和2年4月1日から肉用子牛生産者補給金制度の第7業務対象年間（令和2年4月1日～令和7年3月31日）が始まりました。

本制度は肉用子牛の価格が低落した場合に、生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定等を図ることを目的としておりますので、加入を希望する方は事務局までお問い合わせください。（総務・企画部 武田）

◆ 肉用子牛の保証基準価格及び合理化目標価格

（単位：円／頭）

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	541,000	498,000	320,000	164,000	274,000
合理化目標価格	429,000	395,000	253,000	110,000	216,000

◆ 生産者積立金・負担金

（単位：円／頭）

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
生産者積立金	1,600	6,000	18,800	6,800	3,200
負担内訳（割合） 国（機構）（1/2）	800	3,000	9,400	3,400	1,600
県（1/4）	400	1,500	4,700	1,700	800
生産者（1/4）	400	1,500	4,700	1,700	800

◆ 発動状況

（単位：円／頭）

区分	元年度第1四半期 （平成31年4月-令和元年6月）	元年度第2四半期 （令和元年7-9月）	元年度第3四半期 （令和元年10-12月）	元年度第4四半期 （令和2年1-3月）
その他の肉専用種	33,200	56,600	25,900	75,190

◆ その他

（1）令和元年度が第6業務対象年間の最終年度になり、無事戻しの作業を行いますので、契約内容に変更がある場合は、事務委託先を経由して速やかに手続きをお願いします。

（2）令和2年度は法人経営を中心に現地調査を行いますので、ご準備・ご協力をお願いいたします。

酪農課、肉用牛農家の皆様へ

牛トレーサビリティ制度 あなたの牛は大丈夫？

▶ 牛トレーサビリティ制度は、色々な場面で活用されています。

▶ 牛の出生や異動の届出は、速やか、かつ正確に行いましょう。



◇牛の管理者には、牛トレサ法に基づく耳標の装着及び各種届出が義務付けられています。

◇届出をせずに、又は虚偽の届出をした場合には牛トレサ法に基づく罰則の対象となります。

◇さらに、各種補助金の対象から除外されたり、返還を求められる場合もあります。

牛トレーサビリティ制度に関するお問い合わせは…

- ・ 関東農政局 消費・安全部 水産安全管理課 TEL: 048-600-0600
- ・ 関東農政局 千葉支局 牛トレサビリティ10番 TEL: 043-380-0778

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）

令和元年10～12月販売分の交付金単価（確定値）について、また、今回の新型コロナウイルス感染症に係る支援対策として定められた①算定方法の見直し、②生産者負担金の納付猶予について下記のとおりお知らせいたします。（企画課 小倉）

◆ **交付金単価【令和元年10～12月販売分】** ※交付金は1円単位での交付となります。

（単位：円/頭）

区分		標準的販売価格 (A)	標準的生産費 (B)	差額 (C)=(A)-(B)	交付金単価 (D)= (C) ×0.9
令和元年 10月	肉専用種	1,196,235	1,208,840	△12,605	11,344.5
	交雑種	742,229	759,197	△16,968	15,271.2
	乳用種	459,766	513,902	△54,136	48,722.4
令和元年 11月	肉専用種	1,248,380	1,208,972	39,408	-
	交雑種	754,720	755,116	△396	356.4
	乳用種	460,914	520,610	△59,696	53,726.4
令和元年 12月	肉専用種	1,199,036	1,208,907	△9,871	8,883.9
	交雑種	769,343	761,133	8,210	-
	乳用種	457,212	527,259	△70,047	63,042.3

◆ 交付金の算定方法の見直し

現在、肉専用種において県別算定を実施していますが、以下のとおり見直しが行われます。

※ **令和2年5月支払分（令和2年3月販売分）より実施。**

[枝肉販売価格（県別算定⇒ブロック算定）]

枝肉販売価格について、県ごとの相対取引価格の影響による県間格差を是正するため、ブロック算定が実施されます。※もと畜費等の生産費については、引き続き県別算定。

①北海道	北海道	⑥近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
②東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県	⑦中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
③関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県	⑧四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
④北陸	新潟県、富山県、石川県、福井県	⑨九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
⑤東海	岐阜県、愛知県、三重県	⑩沖縄	沖縄県

[もと畜費（集計対象を変更）]

もと畜費の算定については、集計対象が340kg以下の子牛に限定されていますが、近年、340kgを超える牛が増加してきたことから、実態と合わなくなっているため是正されます。

※日齢：100日齢～399日齢かつ体重：100kg～340kg ⇒ 日齢：182日齢（6か月齢）～365日齢（12か月齢）

◆ 生産者負担金の納付猶予について

肥育農家の資金繰りの支援のため、当面6カ月、生産者負担金の納付猶予（実質免除、国費分（4分の3）を交付）が実施されます。※令和2年4月末から9月末までに負担金の納付期限を迎える全ての登録肉用牛が対象。

[納付猶予は実質免除です。対象牛には国費分（4分の3）が交付されます。]

納付猶予された生産者負担金を後で納付する必要はありません。（実質免除）

納付猶予の対象牛には、交付金の国費分（4分の3）が交付されます。

[生産者積立金が枯渇しても、国費分（4分の3）は交付されます。]

積立金残高が枯渇することとなった場合は、3月までに負担金を納付済みの牛も含めて、国費分（4分の3）の交付となります。※本来は、負担金の追加納付による支払財源の造成が必要です。

[全ての加入者、全ての登録肉用牛が対象です。]

令和2年度 千葉県畜産関係機関一覧表 ①

■ 農林水産部

〒260-8667 千葉市中央区市場町 1-1

T E L	職名	氏名
043-222-2800	部長	穴澤 幸男
043-223-2801	流通販売担当部長	石家 健生
043-223-2803	次長	風間 慎吾
043-223-2804	次長	富塚 浩一
043-223-2804	次長	崎山 一

■ 畜産課

〒260-8667 千葉市中央区市場町 1-1
F A X : 043-222-3098

部署・T E L	職名	氏名
043-223-2931	課長	井出 基雄
043-223-2929	副課長(事)	近藤 創
043-223-2930	副課長(技)	大澤 浩司
企画経営室 043-223-2926 043-223-2927 043-223-2777 043-223-2921	主幹兼室長	市原 裕二
	主幹	山崎 直
	副主幹	藤田 澄代
	主査	野村 俊介
	副主査	永瀧 正人
	副主査	矢嶋 真二
	副主査	溝井 つかさ
	副主査	宇田川 拓二
生産振興班 043-223-2939	技師	藤田 圭佑
	主事	保田 崇
	班長	丸山 武則
	主査	有路 優子
環境飼料班 043-223-2943 043-223-2944	副主査	沼尾 真人
	副主査	行川 貴浩
	技師	能瀬 祥吾
	技師	平尾 明
家畜衛生対策室 043-223-2923 043-223-2938	副主査	塚原 涼子
	副主査	長谷川 輝明
	技師	櫻沢 実奈
	主幹兼室長	江森 美香
BSE 対策本部 043-223-3084	主幹	藤野 晴彦
	副主幹	森田 秀雄
	副主査	猪熊 道仁
	副主査	関谷 圭美
	副主査	八木 健

■ 担い手支援課

〒260-8667 千葉市中央区市場町 1-1
F A X : 043-201-2615

部署・T E L	職名	氏名
043-223-2900	課長	岩見 泰洋
農業経営支援班 043-223-2984	班長	齋藤 秀一
専門普及指導室 043-223-2912	副技監(兼)室長	向後 喜子
	主席普及指導員	平野 和則
	主席普及指導員	川原 喜代巳
	主任上司普及指導員	高橋 大樹

■ 中央家畜保健衛生所

〒262-0011 千葉市花見川区三角町 656
TEL : 043-250-4141 FAX : 043-236-0090

部署	職名	氏名
	所長	芦澤 尚義
	次長	武石 佳夫
	主幹	木下 智秀
庶務課	課長	山端 晶子
	主査	渡邊 なな
衛生指導課	課長	猪俣 一陽
	主任技師	森 浩子
	技師	山本 紗友里
	技師	不破 友介
防疫課	技師	清田 和花
	課長事務取扱	武石 佳夫
	専門員	木下 喜絵
	技師	土肥 世生
	技師	齋藤 瞬

〒285-0072 佐倉市岩富町 497
TEL : 043-498-1431 FAX : 043-498-1475

部署	職名	氏名
病理生化学課	次長	篠原 栄里子
	課長	平島 淳
	上席専門員	関口 真樹
	専門員	小林 大誠
	主任技師	小山 祐介
	主任技師	本多 芙友子
	技師	島田 果歩
	技師	二井谷 佳代
細菌ウイルス課	課長	松本 敦子
	専門員	橘 美奈子
	主任技師	三浦 良彰
	技師	畑中 ちひろ
	技師	倉橋 浩一
	技師	高貴 秀幸

■ 東部家畜保健衛生所

〒283-0064 東金市川場 1105-3
TEL : 0475-52-4101 FAX : 0475-52-3335

部署	職名	氏名
	所長	片山 雅一
	次長	小島 洋一
	主幹	古屋 聡子
衛生指導課	課長	石川 直子
	主査	齋藤 理恵
	専門員	末政 奈津美
	専門員	細野 真司
	主任技師	佐藤 沙樹
	主任技師	山桐 慶之
	技師	柏木 志穂
防疫課	課長事務取扱	小島 洋一
	専門員	西川 潤
	専門員	中山 雄大
	技師	清水 耕平
	技師	高梨 優希

令和2年度 千葉県畜産関係機関一覧表 ②

■ 南部家畜保健衛生所

〒296-0033 鴨川市八色 52
TEL : 04-7092-2304 FAX : 04-7092-1434

部署	職名	氏名
	所長	原 普
	次長	市沢 三香
衛生指導課	課長	田中 なほ子
	主査	平川 智子
	専門員	瀧口 由貴
	主任技師	小高 宏貴
	技師	大矢 美帆
防疫課	技師	山口 敦子
	課長	小谷 嘉宏
	専門員	福井 陽士
	技師	清水 貴文
	技師	谷水 友也
	技師	後藤 花菜

■ 北部家畜保健衛生所

〒287-0004 香取市岩ヶ崎台 12-1
TEL : 0478-54-1291 FAX : 0478-54-5996

部署	職名	氏名
	所長	青木 ふき乃
	次長	小川 明宏
衛生指導課	課長	笠井 史子
	副主幹	成毛 弥生
	専門員	新居 友明
	専門員	阿部 敬
	主任技師	中島 有美子
	技師	佐々田 由美子
防疫課	技師	平木 崇
	課長事務取扱	小川 明宏
	専門員	上林 佐智子
	専門員	綿村 崇宏
	専門員	菅 賢明
	主任技師	渡邊 世奈
	技師	岩間 亮祐
技師	中村 みどり	

■ 畜産総合研究センター

〒289-1113 八街市八街へ 16-1
TEL : 043-445-4511 FAX : 043-445-5447

部署	職名	氏名
	センター長	富田 耕太郎
	次長(事)	吉原 岳
	次長(技)	渡辺 博剛
	次長(技)	渡邊 和彦
総務課	課長事務取扱	吉原 岳
	副主幹	井桁 薫
	副主幹	平山 洋子
	副主幹	川本 一俊
	主事	金谷 友喜
	主事	佐藤 和希

部署	職名	氏名
企画環境研究室	室長	齊藤 健一
	主任上席研究員	井口 明浩
	主任上席研究員	小野寺 道寛
	上席研究員	青木 大輔
	研究員	中山 妙子
	研究員	名取 美貴
	研究員	山崎 藍子
	研究員	田中 航輝
乳牛肉牛研究室	室長	山口 倫子
	上席研究員	大坪 岳彦
	研究員	倉地 充
	研究員	諸岡 佳恵
	研究員	岡本 みさき
養豚養鶏研究室	研究員	犬飼 愛
	室長	森 知夫
	上席研究員	伊藤 香葉
	上席研究員	萩原 妙子
	研究員	松本 千明
	研究員	小形 次人
	研究員	竹尾 駿
研究員	市原 光一	

■ 畜産総合研究センター 市原乳牛研究所

〒290-0531 市原市国本 602

TEL・FAX	職名	氏名
TEL : 0436-96-1231 FAX : 0436-96-0956	所長	島田 純
	主幹	齊藤 公一
	主任上席研究員	川嶋 賢二
	主査	名塚 久恵
	研究員	久保田 尚
	研究員	杉本 卓翔
	研究員	齋藤 孝太郎
	研究員	三根 琴美

■ 畜産総合研究センター 嶺岡乳牛研究所

〒299-2507 南房総市大井 686

TEL・FAX	職名	氏名
TEL : 0470-46-3011 FAX : 0470-46-3012	所長	永福 和明
	主任上席研究員	渡辺 聡
	主査	野澤 浩史
	研究員	関根 大介
	研究員	中橋 冬陽
	研究員	時田 瞳
	研究員	山本 啓悟

令和2年度 千葉県畜産関係機関一覧表 ③

■ 千葉農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒266-0014 千葉市緑区大金沢町 473-2	副主幹	杉本 清美	043-300-1985	043-293-3916
改良普及課		普及指導員	君塚 時江	043-300-0950	043-293-2710
		普及技術員	山下 瀬里奈		

■ 東葛飾農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒277-0861 柏市高田 990-1	副主幹	嶋村 和彦	04-7143-4122	04-7144-8260
改良普及課		普及指導員	佐野 実乃里	04-7162-6151	04-7162-6154

■ 印旛農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒285-0026 佐倉市鍋木仲田町 8-1	副主幹	鈴木 一好	043-483-1129	043-485-9502
改良普及課		副主査	小林 夏奈子		
		普及指導員	岸田 雅弘	043-483-1128	043-485-9502
普及技術員	花本 威士				

■ 香取農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒287-0005 香取市佐原木 1250-3	副主幹	柴田 るり子	0478-52-9192	0478-54-5617
改良普及課		副主幹	小林 正和		
		主任上席普及指導員	菅谷 茂明	0478-52-9195	0478-55-1703
普及技術員	谷本 智里				

■ 海匝農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒289-2504 旭市二 1997-1	副主幹	石田 博英	0479-62-0156	0479-64-2502
改良普及課		主査	中代 浩之		
		GL	宮本 光浩	0479-62-0334	0479-62-4482
		普及指導員	小池 広明		
		普及指導員	野口 航平		

■ 山武農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒283-0006 東金市東新宿 1-11	主査	村中 洋美	0475-54-1122	0475-55-8614
改良普及課		副主査	大河原 澄香		
		主任上席普及指導員	藤 順一	0475-54-0226	0475-52-7914
		普及指導員	村田 美里		

■ 長生農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒297-0026 茂原市茂原 1102-1	主査	松本 友紀子	0475-22-1751	0475-26-2234
改良普及課		普及技術員	吉田 早希	0475-22-1771	0475-25-2061

■ 夷隅農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒298-0293 夷隅郡大多喜町猿稻 14	副主幹	千葉 耕司	0470-82-4956	0470-82-5348
改良普及課		GL	斉藤 寿久	0470-82-2213	0470-82-3975

■ 安房農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒294-0045 館山市北条 402-1	副主査	田仲 景士郎	0470-22-7131	0470-22-0097
改良普及課		技師	井出 深		
		上席普及指導員	野中 太輔	0470-22-8132	0470-22-0097
		普及技術員	後藤 衛		

■ 君津農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒292-0833 木更津市貝淵 3-13-34	副主査	羽深 真里	0438-25-0107	0438-23-6698
改良普及課		GL	金子 貴一	0438-23-0299	0438-23-6698
		普及技術員	加藤 久美子		



1 成田空港アフリカ豚熱（ASF）侵入防止キャンペーン参加（2020.1.25）

中国の旧正月に当たる春節の連休が24日から始まったことから、農林水産省動物検疫所成田支所からの依頼を受け、空港出発ロビーにおいてASF（アフリカ豚熱）の侵入防止キャンペーンに参加した。

利用客に中国語で書かれたチラシ入りのポケットティッシュを配付し、同病の感染源となる肉製品を海外から持ち込まないよう呼び掛けた。

ASFは、日本で発生中の豚熱（CSF）とは異なる家畜伝染病で有効なワクチンや治療方法がなく、国内に侵入すれば畜産業への大打撃を与えると懸念されている。

日本への感染源として懸念されているのが、海外から不法に持ち込まれる肉製品である。2019年12月までに中国を中心とした訪日客が持ち込もうとした肉製品から、ASFウイルスの遺伝子が86件検出された。豚やイノシシが口にすれば、国内に広がる恐れがある。

海外からの肉製品の持ち込みを阻止し、水際対策を徹底しなければならない。



2 令和元年度千葉県養豚大会開催（2020.2.12）

例年その時々を生産者の最も関心の高い問題をテーマに開催をしている千葉県養豚大会は、疾病に対する危機意識をより高める事を目的に、生産者、関係者155名が参加し開催された。

《講演内容》

（1）「病気と闘わない養豚経営のための衛生管理の徹底とは」

（一社）日本養豚協会 会長代行 松村 昌雄先生

日本は災害が多い国。台風被害で千葉の養豚も大きな被害を受け、停電があったが、全国どこの農場でも停電に備え、発電機の購入は必須。経営が大きくなればなるほど、何か1つ歯車が狂うと大変なことになるので、保険として発電機器を備えておく必要がある。

ASF（アフリカ豚熱）侵入の問題もあることから、国は飼養衛生管理基準の内容の強化を図っている。農場における柵は、野生イノシシ侵入防御の対策だけではなく、人、物、車両の無断侵入を遮断するために必要である。



（2）「CSFワクチン接種実施に向けた準備と対応」

千葉県農林水産部 畜産課

家畜衛生対策室 主幹 坂元 依子先生

17日から開始されるワクチン接種の決定を踏まえ、①CSF国内の状況、②ワクチン接種プログラム、③飼養衛生管理基準の改正の考え方、④接種農場として守るべき事、等詳細にわたり講演された。



3 令和元年度第2回関東養豚協議会開催（2020.2.21）

関東8県で組織する協議会は、年2回開催し情報の共有と経営安定のための活動を行っている。本年度は埼玉県を幹事県として開催された。

漸くワクチン接種推奨地域に指定され、接種が始まったことも踏まえ、現状の問題点として①各県の条例で定めるCSFワクチン接種に係る生産者負担額の軽減、②ワクチン接種に伴う家畜防疫員の問題を中心に情報の共有を図った。

（→次頁に続く）

特に県による価格の違いから、軽減に向けた運動を強めることが決議され、合わせて家畜防疫員によるワクチン接種に関する規制問題について協議した。

また、家畜改良増殖法改正の検討を踏まえ、豚枝肉上物規格上限を80から83kgへ要請する事も協議し、各県で要請書を作成し幹事県へ提出することで決議された。



4 CSF（豚熱）ワクチン接種に係る生産者負担経費軽減要請

生産者はCSF・ASFの脅威にさらされ、より厳格な飼養衛生管理基準遵守のための設備投資や作業等負担が増加している状況の中で日々生産に励んでいる。

本来農場周辺に設置しなければならない防護柵は、先の台風15号の被災改善優先のため、多くの農場でやむなく設置は先延ばしの状況にある。また、国産豚肉はTPP11、日EU・EPA、日米貿易協定も発効され、安価に輸入される海外産豚肉との競争を余儀なくされている。

このような状況から生産者は、接種が義務付けられたCSFワクチン接種費用の負担をできる限り抑えていただきたいものと考えている。

2020.2.25

《県農林水産部畜産課》

予防的CSFワクチンは2月17日から接種が開始され、初回の接種については緊急的に実施するため、手数料の徴収はなく生産者の負担は無いが、2回目以降の接種には390円/頭の負担となる。

他県から比較して高額であるため、生産者の要望を踏まえ150～200円/頭までの軽減を要請した。



2020.3.9

《（公社）千葉県畜産協会 会長 森 英介 衆議院議員》



要請に際し、CSFワクチン接種推奨地域となり、接種が始まったことへの報告と御礼を申し上げた。

豚肉生産の現場では、CSF・ASFの脅威にさらされており、より生産者として飼養衛生管理基準の遵守と強化を図っている事に加え、新型コロナウイルス感染拡大等、輸入在庫の関係もあり、豚枝肉価格の低迷が続いている状況を説明。

ワクチン接種を実施している21都府県の「CSFワクチン接種に係る生産者負担費用一覧」を提示し、千葉県が他の県から比較し高額であり、減額について、県及び県議会へ要請する状況を説明。

森先生との意見交換の中で、県の手数料条例で定める390円/頭については県議会での要請を優先し、国に対する助成及び家伝法に定める家畜防疫員によるワクチン接種体制等の緩和については他県と連携し進めていくことを確認し、合わせて支援をお願いした。



2020.3.13

《千葉県議会自民党畜産振興議員連盟 實川 隆 会長》

冒頭、岩岡会長から、ご支援によりCSF接種推奨地域に指定され2月17日から接種が開始されたことに対し御礼を申し上げた。接種については、2回目以降県条例で定める金額が他県から比較して高額であることから、出席した生産者からそれぞれ軽減を強く要請した。

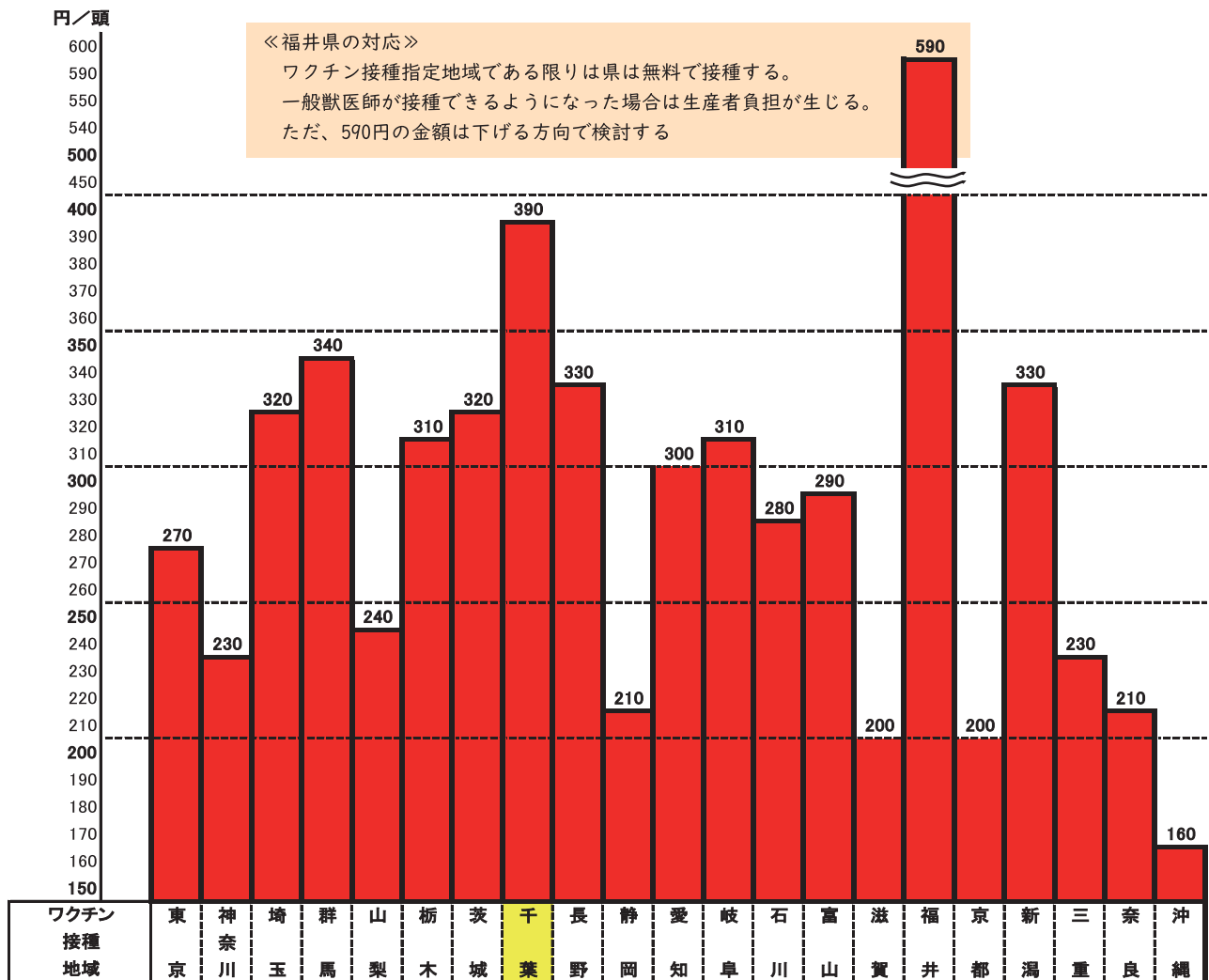
また、畜産振興議連副会長である阿井伸也県議会議長から、群馬県議会と連携し、CSFワクチン接種に関する家伝法について、国に対して制度の見直しを求める意見書を提出する旨説明。

その内容は、

- ① 予防的ワクチン接種については、家畜防疫員以外の民間獣医師による接種を認めること。
 - ② 接種に要する人件費や資材費等について、国庫補助金を充実し、県及び養豚農家の負担を軽減すること。
- の2項で、農水大臣へ提出すると報告を頂いた。《意見書は承認され国へ提出された》



◆ C S F ワクチン接種に伴う生産者負担金額 (2019.12~2020.3)



《防疫指針におけるワクチン接種推奨地域の考え方》

- (1) 現在のワクチン接種推奨地域（以下「推奨地域」という。）の設定は、野生のししにおけるCSFの感染状況、農場周辺の環境要因（野生のししの生息状況、周辺農場数、豚等の飼養密度、山・河川の有無等の地理的状況）を踏まえ、CSFのリスクが高い地域を設定する旨を防疫指針で規定しているところ。
- (2) また、区域の設定にあたっては、面的に範囲を設定し、接種区域と非接種区域の接触面が最小になるよう設定することとしているところ。（現在CSFワクチン接種推奨地域は21都府県）

NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

1. 令和元年度会計監査及び令和2年度第1回役員会の開催について

【令和元年度会計監査】（出席者：松田理事長、鶴岡監事、山田監事、薫田事務局）

(1) 日 時 令和2年4月24日（金）12時30分から

(2) 場 所 公益社団法人千葉県畜産協会 会議室

(3) 監査

- ① 令和元年度事業実績及び収支決算書・貸借対照表・財産目録について
- ② 関係諸帳簿について

【令和2年度第1回役員会】

新型コロナウイルス蔓延による、県の外出自粛要請を受け「役員会」は書面決議で行うこととしました。
なお、令和2年度通常総会・畜産研修会開催は、国の「緊急事態宣言」の状況を鑑み決定していきます。

2. 令和元年度の実績

【畜産研修会】

第1回：令和元年6月20日 総会終了後 TKP千葉駅前東口ビジネスセンター

出席者：会員、県、関係団体等 45名

■演題1 「ビフィドバクテリウム サーモフィラム由来ペプチドグリカンによる免疫賦活について」

講演者：佐々木アニマルヘルスケアクリニック（会員）

元全農家畜衛生研究所 所長 佐々木 隆志 先生

■演題2 「国際化対応の家畜改良」

講演者：一般社団法人家畜改良事業団 理事長 伊地知 俊一 先生

第2回：令和2年2月6日、千葉県教育会館 別館3階 会議室

出席者：会員、県、関係団体等 56名

■演題1 「ASF/CSF—いま、重要な豚疾病について」

講演者：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

動物衛生研究部門 越境性感染症研究領域

（アフリカ豚コレラユニット長） 國保 健浩 先生

■演題2 「牛の繁殖生理と繁殖障害治療」

講演者：公益社団法人中央畜産会 衛生指導部

（会員） 見學 一宏 先生



【農場HACCP構築指導】

(1) 本指導は（公社）千葉県畜産協会からの依頼に基づき農場HACCP推進農場の指定又は認証を希望する農場へ指導員を派遣し、構築の指導・助言・提言を行うもので、県内への農場HACCP普及推進に努めました。

☆認証取得・支援農場：45農場 [内訳；酪農4、肉用牛16、豚21、採卵鶏3、ブロイラー1]

☆本事業で認証を取得した農場：41農場 [内訳；乳用牛2、肉用牛3、豚31、採卵鶏4、ブロイラー1]

☆認証申請中(2020.2.7現在)：8農場 [内訳；酪農1、肉牛5、豚2]

(2) 指導員派遣

[NPO会員農場HACCP指導員15名（延339回）]

(3) 農場HACCP・JGAP講習会講師派遣

[会員講師 延9名派遣、講習会：6回]



2019.9.5
「農場HACCP認証取得体験発表」▶
(推進会議)



2020.2.4
 ◀ 「海外技能実習生を
 対象とした研修会」
 (ベトナム語・タガログ語通訳)

2020.3.26
 「農場HACCP普及推進会議」▶



【死亡牛等の受入及び保管等補助業務受託(千葉県：公募事業)】

本事業は千葉県の公募事業で、中央家畜保健衛生所(佐倉)で実施している死亡牛等の受入及び保管等の業務を補助する内容で、平成27年8月中旬から取り組んでいます。平成31年度からは96カ月以上の死亡牛が対象となりました。[会員5名・184日派遣]

【野生獣衛生体制整備推進確立対策事業】

地域衛生対策技術連絡委員、獣医師等が参加して、地域での野生獣の連絡協議会の参加や、野生獣(イノシシ12頭、シカ28頭)を採材して疾病の調査に協力をしました。[採材等会員4名、延52日]

【JGAP認証構築・GAPチャレンジシステム指導支援】

県及び(公社)千葉県畜産協会の要請に基づき、一部希望農場への構築支援を行いました。また、審査員として中央畜産会からの派遣で県内構築農場を指導しました。

[会員：4名、指導農場：酪農1、肉用牛3、豚1、チャレンジシステム支援]

【人材情報システム運営及び畜産情報収集・提供事業等】

- (1) 千葉県及び公益社団法人千葉県畜産協会等の次の調査等に協力
 エコフィードコーディネーター設置事業 [3名 延27日]
- (2) 千葉県農業大学の畜産関係非常勤講師 [8名(前期4名・後期4名)]
- (3) 当NPO法人の存在と支援活動等を広く知ってもらうため、ナイスポークチバ推進協議会総会、ちば畜産レディースネットワーク総会、NPOちば農業支援ネットワーク総会、その他の行事に出席して情報の交換を行いました。
- (4) 団体事務支援 [1名(3~4月)]
 一般社団法人千葉県農業協会の依頼により、台風被害補助事業に係る事務処理業務のため会員1名を紹介。

3. 令和2年度通常総会及び第1回畜産研修会のお知らせ

昨今の状況を鑑み未定

4. 会員状況及び会員募集中

現会員数：86名(内訳 個人71名、団体12団体、賛助3団体)

令和元年度新規加入：団体正会員：1会社、個人会員：9名

【NPO会員募集中】

NPOでは農場HACCP認証構築支援指導やJGAP支援・指導、BSE補助業務、エコフィードコーディネーター等各種の事業支援に取り組んでいます。

NPO活動参加可能な分野、ご意見等をお聞かせ頂きたいとお願いたします。

◎入会申込み・畜産に関する御相談等をお待ちしております。

お問い合わせ…NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局(公社)千葉県畜産協会内)

TEL: 043-241-1738 FAX: 043-238-1255

わたしたち森久保薬品は
 人と動物の「これから」を真剣に考えています。

 **森久保薬品株式会社**
<http://www.morikubo.co.jp>





チバザビーフ協議会報

チバザビーフ協議会は千葉県産の「うまい牛肉」のPR活動を行っています。



◆第10回チバザビーフ枝肉共励会 (R2.2.26)

東京都中央卸売市場食肉市場において、第10回となる枝肉共励会を下記のとおり開催いたしました。

なお、本来であれば、共励会前日に東京食肉市場関係者やチバザビーフ取扱業者を招き、意見交換やPRの場となる「前夜祭」を併せて開催しているところですが、今回は新型コロナウイルスによる肺炎の感染拡大を受け、急遽中止とさせていただきます。

■出品頭数：80頭（黒毛和種 44頭、交雑種36頭）

■黒毛和種の部

(単位：円)

受賞	生産者名称	枝肉単価	枝肉金額	買受人	褒賞
最優秀賞	(株)高梨牧場	2,804	1,749,696	ア ند ス食品(株)	農林水産大臣賞 千葉県知事賞 公益社団法人千葉県畜産協会会長賞
優秀賞1席	(株)牛玖牧場	2,604	1,585,836	(株)日本精肉店	東京都中央卸売市場 市場長賞 東京食肉市場株式会社 社長賞
優秀賞2席	(株)高梨牧場	2,631	1,489,146	(株)ミヤミート	公益社団法人日本食肉格付協会会長賞
優良賞1席	(農)宮澤農産	2,649	1,509,930	(株)スズチク	千葉県家畜商協同組合 理事長賞
優良賞2席	(株)越川農場	2,422	1,145,606	(株)鎌倉ハム村井商会	千葉県肉牛生産農業協同組合会長賞

■交雑種の部

(単位：円)

受賞	生産者名称	枝肉単価	枝肉金額	買受人	褒賞
最優秀賞	越川 和行	2,001	1,090,545	下山畜産(株)	関東農政局長賞 千葉県知事賞 公益社団法人千葉県畜産協会会長賞
優秀賞1席	岩淵 義徳	1,720	1,028,560	宮畜産(株)	東京都中央卸売市場 食肉市場長賞 東京食肉市場株式会社 社長賞
優秀賞2席	齋藤 茂樹	1,707	1,036,149	小川畜産興業(株)	全国畜産農業協同組合連合会会長賞
優良賞1席	篠本 正治	1,693	892,211	(株)富作商店	全国農業協同組合連合会 千葉県本部長賞
優良賞2席	石毛 康裕	1,642	968,780	マルイミート(株)	千葉県と畜場協会 会長賞



チバザビーフ協議会
宮澤会長 あいさつ



日本食肉格付協会
末吉関東支所長 審査講演



黒毛和種の部 最優秀賞
(株)高梨牧場 様



交雑種の部 最優秀賞
越川 和行 様 (代理)

■令和2年度の枝肉品評会等の開催予定

第14回チバザビーフ枝肉研究会

期日：令和2年6月25日(木)
場所：東京都中央卸売市場食肉市場
出品予定頭数：60頭(黒毛和種、交雑種)

第15回チバザビーフ枝肉研究会

期日：令和3年2月25日(木)
場所：東京都中央卸売市場食肉市場
出品予定頭数：60頭(黒毛和種、交雑種)

第11回チバザビーフ枝肉共励会(東京食肉市場まつり記念共励会)

【前夜祭】期日：令和2年9月30日(水)
場所：第一ホテル東京シーフォート
【共励会】期日：令和2年10月1日(木)
場所：東京都中央卸売市場食肉市場
出品予定頭数：100頭(黒毛和種、交雑種)

※東京食肉市場まつり2020(令和2年10月24日(土)・25日(日)開催)に2016年に引き続き、チバザビーフ(千葉県)が再び協賛県として参加します。

◆活動状況報告

各種イベント等に参加・協力し、県産牛肉の知名度向上を図っています。

☆成田ゆめ牧場「第20回全国穴掘り大会」(R2.2.2)

1チーム6名以内の編成で、使用できる道具は市販のスコップ、バケツ、ロープ、ハシゴのみ。制限時間30分以内に、どれだけ深い穴を掘れるか競う大会です。

一般部門、ユーモア部門（芸術的・面白みある造形穴を対象とする部門）、レディース部門（女性のみでの編成チーム）、ちびっこ部門（小学生以下のみチーム）、ペア部門（2人一組のチーム）、計289チーム・1,452名が参加しました。



チバザビーフ協議会では、第18回大会から協賛として参加しており、一般部門・ちびっこ部門・ペア部門の優勝チームに賞品提供を行いました。

また、特別企画としてチバザビーフPR大使『コズミック☆倶楽部』による穴掘り対決を実施（ペア部門に参戦）、勝利チームを当てた方の中から抽選で県産牛肉をプレゼントするなど、県産牛肉の普及・PRに務めました。

なお、今回の大会では『最大の穴掘りチャンピオンシップ』との記録名で、「単一の穴掘りチャンピオンシップに参加した最多人数」としてギネス世界記録に認定されています。



☆チバザビーフ「ランチフェア」「ハンバーグフェア」

県産牛肉の普及・PRのため、『ランチフェア』『ハンバーグフェア』を開催いたしました。

■ランチフェア (R2.3.9～)

「ディスカーロ」京成ホテルミラマーレ

千葉市中央区本千葉町15-1

TEL:043-222-2350

・チバザビーフ（卵の花牛、コウゴ牧場牛）を使った牛づくしランチセットを1日5食限定（計30食程度）にて提供しました。



■ハンバーグフェア (R2.3.14～)

「コズミックパラソルカフェ」 柏市常盤台2-1 TEL:04-7128-6446

・チバザビーフ（北総花牛）のハンバーグを特別価格にて50食を提供しました。

「薪と炭焼きSTEAK 今はな」 成田市上町521-4 TEL:050-5456-1259

・チバザビーフ（北総花牛）のハンバーグ（持帰り用）を特別価格にて100個限定で販売しました。

◆公式ホームページ

下記アドレスまたは右記のQRコードよりアクセス下さい。（事務局 小倉）

☆イベント情報・取扱店情報

<http://chibathebeef.jp/>





「食のちばの逸品を発掘2020」にて『千葉県産いも豚』、『花悠』の加工品が受賞いたしました!

千葉県産農林水産物を主たる原料とする加工食品で埋もれた逸品を発掘し、商品力向上や販路拡大を支援することで、地域産業の活性化に役立てることを目的としたコンテスト「食のちばの逸品を発掘2020」の授賞式が、令和2年1月24日千葉市の三井ガーデンホテル千葉で開催され、チバザポーク参加銘柄である千葉県産いも豚の「しそウインナー」、花悠の「やさしいポークジャーキー」が受賞いたしました。



「ちばの食の逸品を発掘2020」授賞式



千葉県産いも豚の「しそウインナー」



花悠の「やさしいポークジャーキー」

▲ イベント情報等ははこちらから! <https://chibathepork.jp/>

「食の安全・安心」のための第1歩は、
「法令遵守」であることを
改めて認識してください。

地方競馬の収益金は
畜産の振興に
役立っています。



本誌「畜産ネットワークちば」に広告を 掲載していただだけませんか!

年3回発行（春、秋、新年）。掲載は、頁最下段にこの大きさ（170mm×45mm）で。
掲載料1回1万円（1回単位で申し込みます）
お問い合わせは、千葉県畜産協会 総務・企画部まで（TEL 043-242-5417）

部 署		TEL	FAX
総務・企画部	総務課	043-242-5417(代)	043-238-1255
	企画課	043-242-6333	
事業部	経営・環境課	043-241-1738	
	衛生指導課	043-241-1738	
	生産課	043-241-3851	

Eメール：info@chiba.lin.gr.jp

URL http://chiba.lin.gr.jp